ガバナーメッセージ

ためになる魅力あるロータリー

～自分を磨き、品格とクラブの魅力を高めよう～

国際ロータリー第２５９０地区 ガバナー **吉田　隆男**

ガバナー就任にあたり、会員の皆様に対し心よりご挨拶を申し上げます。

今年度の「ガバナーテーマ」は、“ためになる魅力あるロータリー”～自分を磨き、品格とクラブの魅力を高めよう～に致しました。ロータリー活動は「自分並びに職業のためになり、職業を通じて人のためになり、奉仕活動を通じて社会のため、世界のためになるようにしましょう」という趣旨です。

さて 2020-21 年度ホルガー・クナークＲＩ会長の重要メッセージにある、地区活動目標は、次の４つとなります。

1．新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組んで下さい。衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることができます。
2．各クラブは、1 回以上の戦略会議を開き、５年後にはどのようなクラブになっているか、ビジョンを達成するために、どのようなステップを踏むべきかなどを、会員に問いかけて下さい。
3．新会員を注意して選び、新会員にとってクラブがぴったりと合うこと、新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒をみて、積極的な参加を促してください。
4．ポリオ根絶のための寄付を行い、10 月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催して下さい。

ところで、会員皆様方は１０年後のロータリーがどんな姿になっているか、どう変化しているかを想像できますか。少子高齢化、人口減少などという問題により、ロータリーを取り巻く環境は大きく変化していますし、これからも続くと思います。私はこの変化をチャンスであると捉え、流れを受け止め、前向きな気持ちで対応していく必要があると考えます。

未来は「今」という時間の積み重ねでしか創り出すことができません。そのためには「今」を最善の策で創り出すことが必要です。

ロータリーの将来が不透明な状況では円滑に循環していきません。厳しい環境変化を生き抜き、会員増強などによりロータリーの発展につなげるには、地区と各クラブが共通の価値観と目的で行動する必要があると考えます。

地域社会奉仕などにより、ロータリーの公共イメージを向上させ、社会的価値をより高めるように社会をリードする、責任ある積極的な取り組みが期待されます。

ロータリーの未来を創造する会員一人ひとりの想いを大切に、クラブを核にして地域社会に貢献しようではありませんか。多様な知恵、異なる視点をもったロータリアン一人ひとりが、互いに刺激し合い、クラブを通じて成長していくこともロータリークラブならではです。

私もロータリー入会当初より先輩諸兄から多くの面で学ばせて頂き、クラブが人生道場としての鍛錬の場ともなっています。これからの世の中で、ロータリーは何が求められているのかを懸命に考え、解決策を構想し、一歩一歩取り組んでいきたいと思います。その実現には若いロータリアンの入会が欠かせません。ロータリーの理念を胸に、これからもロータリークラブが社会になくてはならない存在でありたいものです。

最後になりますが、本年度スタート前の会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会は、新型コロナウイルスの影響により、代替方式で行うことを余儀なくされました。今までの人生を振り返ってみましても、どのような時にも逆境はあるものと思っています。課題を乗り越えるにあたっては、会員の皆様方と英知を出し合って、覚悟をもって歩んで行ければと考えております。

素晴らしい年度にしたいと願っておりますので、御理解、御協力の程、宜しくお願い申し上げます。